



ライト・イン・バビロン

LIGHT IN BABYLON

2010年にトルコで結成、ロマ文化を継承しつつ、
その活動地域や音楽ジャンル、いかなる国と国とのボーダーにもとらわれない
コスモポリタニズムの信念をもちながら活動するバンドの情熱的でパワフルなライブをお届けします。



**YouTube再生総数は桁違いの3000万回超え、
世界が注目する最前線ワールドミュージック。**

2023 **7.15** **土** 開演 14:30
(開場 14:00)

国分寺市立いずみホール

チケット
全席指定/税込

一般 3,500円

※未就学児童入場不可

※車いす席ご希望の方は会館窓口までお問い合わせください。

一般販売 2023年4月22日(土)

プレイガイド ●国分寺市立いずみホール 042-323-1491

※発売初日 10:00～

電話予約、オンラインチケットサービス

※窓口販売 翌日10:00～

●チケットぴあ(Pコード 240-706) <https://t.pia.jp/>

●イープラス <https://eplus.jp>



Program

- Istanbul (オリジナル)
 - Gypsy Love (オリジナル) ほか
 - トルコ伝統曲 (民謡)
 - Imagine (ジョン・レノン)
- *曲目は変更になる場合がございます。

《感染症対策へのご協力をお願い》

- ご来場前に検温をお願いいたします。体調のすぐれない方はご来場をお控えいただきますようお願いいたします。
- ご来場時には手指消毒にご協力ください。
- 館内ではマスクの着用を推奨します。

お問い合わせ

国分寺市立いずみホール

TEL 042-323-1491 9:00～22:00

〒185-0024 東京都国分寺市泉町3-36-12

休館日：第1・3月曜 (祝日の場合は翌平日)

12/29～1/3



主催：国分寺市立いずみホール (指定管理者：株式会社ケイミックスパブリックビジネス)

後援：イスラエル大使館 在日フランス大使館/アンスティチュ・フランセ

国分寺市音楽連盟

企画制作：ハーモニーフィールズ



Light in Babylon (ライト・イン・バビロン) プロフィール



【結成】：2010年

2009年Michal (ミハル)とJulien (ジュリアン) が出会い、デュオを結成。2010年にサントゥール奏者のMetehan (メテハン)と出会い、Light in Babylonを結成。

トルコ・イスタンブールのイスティクラル通りで、ストリートライブのパフォーマンスを開始。当初から大勢の人集りが出来ていた。

偶然その様子(「Israel (イスラエル)」)が動画投稿サイトYouTubeにアップされ、瞬く間に再生される(現在その動画再生回数は2000万回以上)。以後、様々なフェスティバルや会場で演奏する機会を得、現在はヨーロッパを中心に活動中。

レパートリーの多くをヘブライ語で歌い、最新作ではトルコ語、ペルシャ語も織り交ぜるなど、「多国籍バンド(コスモポリタンバンド)」としての意識をより一層強固なものとしている。これまでに4枚のアルバムを

リリース。最新作は2022年12月にリリース。

所謂サブスクでの音楽配信は行っておらず、「音楽は購入するもの」として持論を展開。公式YouTubeチャンネルの総動画再生回数は3000万回を超えている。

(全てではないが)YouTube上にMVを公開している楽曲に関しては、CD収録を行わない。というスタンスでのプロモーション活動も行っており、これまでの音楽のあり方、マーケティング手法にも新たな一石を投じるような独自路線も注目を浴びている。

【グループ名について】

イスティクラル通りを行き交う多くの人は急ぎ足で、下を向いて歩いている人が多く、そんな人たちにこそ自分たちの音楽聞いて欲しい。琴線に触れるような演奏をしたい。と言う想いを込めている。

「バビロン」とは、一般的にはメソポタミア地方に存在した古代都市を意味するが、このグループ名の場合、レゲエミュージックに多用される用語「バビロンシステム」も兼ねた意味合いで使用されている。「バビロンシステム」とは、一方だけを見るよう強制するシステムの名称。光(Light)を生み出すシステム(Babylon)と、あらゆる種類の芸術、音楽、多様性を混ぜ合わせると、(光が乱反射し)人々は様々な方向にも目を向け始める。つまり自分たちの音楽にも耳を傾けてくれるのではないかとする想いを込めている。

また、もう一つの理由としてバベルの塔の神話をモチーフとしている。神話の内容とは文化が分離し、人々が異なる言語を話し始めた時代を意味している。メンバーそれぞれが出身地も言語も異なる多文化主義ではあるが、音楽と言う共有言語で繋がっていると言う意味を込めている。

YouTubeチャンネル



Michal (ミハル)

イラン系イスラエル人。シンガー、ソングライター、作曲家、ドラマー、女優。9歳から楽器を始める。ピアノ、ドラム、オリエンタルパーカッションを学ぶ。トルコの映画やテレビに出演し、オリエンタルクラシック音楽の大規模なオーケストラを含むさまざまな音楽プロジェクトに参加。



Julien (ジュリアン)

フランス人。ギタリスト、作曲家、ワード奏者。幼少よりギターを始める。音楽活動の他、建築エンジニアおよびコンピューターエンジニアでもある。



Metehan (メテハン)

トルコ人。サントゥール、ギター、サンスーラ奏者、作曲家。子供の頃から様々な楽器を演奏し、特にサントゥールにおいて独自の演奏方法を開発し、その演奏には定評がある。また音楽教師でもあり、学生時代は哲学を専攻。